

田川大吉郎 たがはひ きちろう 政治家。明治二年十月二十一日肥前國生乳、昭和二十一年十月九日歿（八六—九四七）。號靖軒。明治二十一年東京專門學校政治科卒。『郵便報知新聞』、『都新聞』記者、陸軍少佐、東京市助役等を経て、明治四十一年衆議院議員（當選九回）。普選運動を推進し、戦後日本社會黨から衆議院に再選。この間明治學院總理を務めた。

著書、『不平歌』（明治二十七年五月）二十九頁博文館「社會文庫」、
 『婦人の修養』（明治二十六年十一月）二頁、『増補婦人の修養』四十年七月、二十頁金港堂書籍株式會社）、『改^造途上の歐米社會見物』（大正九年一月）二十五頁日本評論社出版部）、『英國の王室及び議會』（大正九年四月）十五頁醒社書店）、『國際論と人情から』（大正十一年二月）十五頁國際聯盟協會）、『華府往返の路すぢら』（大正十一年二月）二十八頁市政講究會）、『財政上の實際知識』（大正十四年二月）二十五頁白揚社）、『知^り政治讀本』（昭和二年二月五日實業之日本社）、
 『各政黨代表者大演說集』（他七名合著・大阪毎日新聞社編、昭和二年二月十一日）大阪毎日新聞社・東京白
 台新聞社）、『基督教主義の教育』（昭和二年八月二十一日）教文館出版部）、『靜心雜記』（昭和十年五月十二日）白揚社）、『國
 家と宗教』（昭和



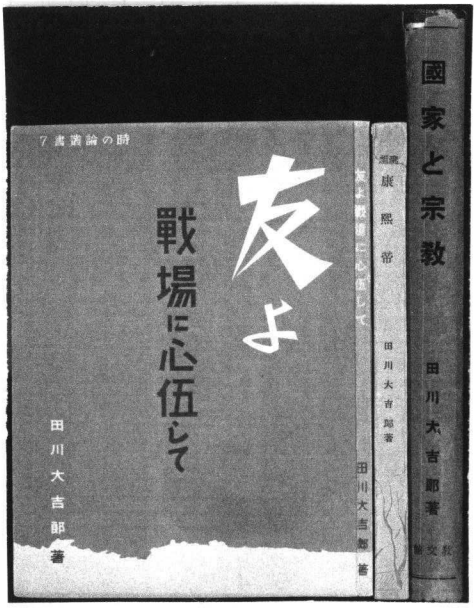
家と宗教』（昭

和十二年八月

白台教文館）、

『白台提携の根本義』

（編著、昭和



十六年六月、二白教文館「時の論叢書」()、
『^{皇天上帝の説}基督者の友に檄す』(編著、昭和十六年八月、二白教文館「時の論叢書」)、
『友よ戰場に心伍し』(昭和十七年二月、二白教文館「時の論叢書」)、
『^{聖祖康熙帝}如書と論語』(昭和十七年九月、二白教文館)、
『^{聖祖康熙帝}如書』(昭和十九年一月、二白教文館)等。